

【06】「音楽療法士が働くうえで、知っておきたい社会の仕組み ～リスクマネジメントの視点を軸に～」

【講師】猪之良 高明

【要旨】

音楽療法士の働き方として、組織に所属して働く勤務型と、独立・開業して働く独立型、主には 2 つに分けられると考えられます。本講座では、これから音楽療法士として独立を目指している方、すでに独立されている方などを対象とした講座として企画いたしました。

音楽療法士として働くうえで、何を知っておかなければいけないのか、リスクマネジメントの視点を軸にして、様々な課題に焦点を当てていきます。講師自身の体験談も交えながら、羅針盤的な役割を果たせる講義を目指していければと考えています。

講義予定内容

①なぜ独立するのか

独立の動機、やりたいこと・やるべきこと、理念、メリットとデメリット、家族の協力、健康管理

②経営に関する知識

個人事業か法人化か、規定を整備する、経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報)を考える

ヒト(1人で始めるか誰かの協力を得るか、労働契約と委託契約)

モノ(拠点、設備調達、楽器等、移動手段、IT 機器)

カネ(初期コスト、ランニングコスト、資金調達、税、助成金、固定費と変動費)

情報(情報管理、IT 化、セキュリティ、マニュアル化)

③事業計画、資金計画

事業計画書を作成する、資金調達の方法、生活費を考える

④リスクマネジメント

二足のわらじ、小資金ではじめる、賠償責任保険

⑤関連する法律、制度

開業届、新フリーランス法、業務上過失、許認可・資格、法改正、契約、取引先

⑥独立したら

事業課題(収益がでない、回収できない、災害等発生・BCP)

法人化の考え方

【プロフィール】

社会福祉士、保育士、日本音楽療法学会認定音楽療法士、国立群馬工業高等専門学校電気工学科卒、佛教大学社会学部社会福祉学科卒。

知的障害児・者総合施設にて音楽療法・相談援助を実践。2003 年独立開業し、群馬県太田市にて「ドレミ株式会社」代表取締役として、音楽療法、障害福祉事業を展開、2023 年に代表を退任。

現在は「音描屋」を開設し、フリーランスとして音楽創作をおこなっている。大阪芸術大学音楽学科在学中。